旭川市立永山小学校　　令和５年８月３１日発行　第６号

永小だより

TEL 48-2811
FAX 48-2816

～ 自覚を促し　輝かせよう ～

目標をもつことが大事と叫ぶ

校長　　千　葉　憲　史

「今日のめあては廊下を走らない。しっかり守ってください。」朝の教室での風景，今も昔も変わらない部分かと思います。学校生活の中には，様々な「めあて」や「目標」があり，“向かうべき姿”を定めて生活することは，子どもたちに身に付けさせたい好ましい習慣の１つでもあります。自分が学級担任をしていたときを振り返ってみても，もっとしっかりと目標に向かう気持をもたせることができたなら，結果は違っていたのかなと思うことが少なくありません。小さな目標を一つ一つ積み上げて，大きく飛躍（ひやく）した子どもたちの姿もたくさん見てきました。「目標」をもつことの大切さを本当に痛感しており，これまで着任したどの学校でも，子どもたちに一番伝えたいこととして「目標が大事！」と叫んでいます。

例えば，ちょっとした出来事やきっかけで,子どもたちが驚くほど成長することがあります。その前後の様子をよく見ると,子どもたちなりの「思い」があることに気付きます。「こうなりたい」「こうしたい」，具体的な思いや目標をもって取り組むことで，子どもたちの成長が加速（かそく）することを知ることができます。学校の日常としては，授業の課題や目標を意識させること。行事や諸活動にも目標があり,自分が決めた学期ごとの目標もあります。子どもたちはそこを目指して頑張ります。目標をもち，目標に向かって努力し，達成感を感じてまた新たな目標に挑（いど）む。この繰り返しが，子どもたちを一歩一歩成長させていくものと思います。子どもたちの頑張りに対し，大人がどう関わるかを考えることも大切と思いますが，まずは目標をもたせること，目標に向かって努力することを身に付けさせたいと思います。ご家庭においても，様々な場面で声掛けをいただき，好ましい習慣として定着するよう後押しいただければと思います。

１学期の終業式で，子どもたちに「将来の夢や目標」について聞いてみたいと話しました。特に，５・６年生には，目標は将来につなげていくものであり，夢を夢で終わらせないために何が必要だろうと問い掛けました。２学期は，将来の目標に向かって今何をすべきかを考えさせ，日々の学校生活の向上を図りたいと思います。持久走記録会や学芸会などもあり，子どもたちの活躍も期待できます。１学期同様，ご理解ご協力をよろしくお願いします。

※裏面に「保護者アンケート（６～７月に実施）」の結果を掲載します。
　お忙しい中，アンケートへのご協力をありがとうございました。

とっても楽しいクラブ活動②

前号で紹介しきれなかった，楽しそうなクラブ活動の様子を紹介します。

【まんが・イラスト】
キャラクターを楽しそうに描いていました。

【理科】
スライム作り。プルプルに仕上がりました

【図工】
この日は工夫を凝らした付箋作りに挑戦！

【ＩＣＴ】
作品の素材を校内で探し歩いています。

９月

【生活目標】進んで運動に参加しよう

９月	１日（金）	４時間授業（給食なし）
	６日（水）	消防出前講座（３年）
	８日（金）	クラブ
	１２日（火）	持久走記録会（４～６年）※予備日は１４日
	１３日（水）	持久走記録会（１～３年）※予備日は１５日
	１５日（金）	委員会，学校諸費振替日
	１９日（火）	学級行事（５年２組）
	２０日（水）	学級行事（５年３組）
	２２日（金）	教育実習最終日，身体測定・視力検査（６年） クラブ，校内絵画展（～１０月６日）
	２５日（月）	身体測定・視力検査（５年）
	２６日（火）	身体測定・視力検査（４年）
	２７日（水）	身体測定・視力検査（３年）
	２８日（木）	身体測定・視力検査（２年）
	２９日（金）	身体測定・視力検査（１年） 通知表配付，クラブ

※フッ化物洗口は，１０月初旬開始予定となりました。

ＭＯＡ・岩見田さんのお花

★夏休みこぼれ話★

○開放プールが大盛況！

４年ぶりに行われた学校プール。水遊びを楽しむ多くの子（１０日間で延べ４００人ほど）がやって来て，楽しそうな声が響いていました。

○あんどんが展示されました

先月末の「永山屯田まつり」に永山小ＰＴＡのあんどんが展示されました。制作に携わった皆さん，お疲れ様でした。

○教室がピッカピカに！

１・２階を中心に，教職員が力を合わせてワックス掛けなどを行いました。

児童・保護者アンケートの結果をおしらせします

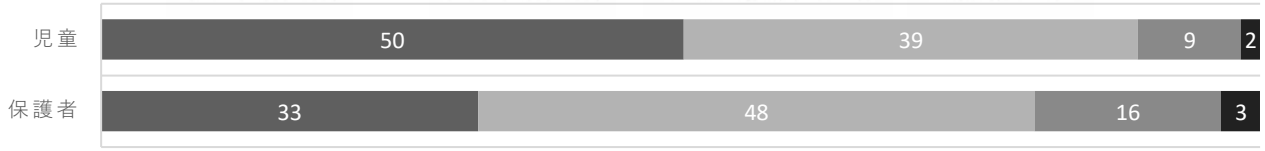
忙しい中，回答いただきありがとうございました。
２つのアンケート結果を並べるなどしてまとめます。
☆ 四捨五入して％を出しているため，合計が１００にならないことがあります。

保護者アンケート回答数　298

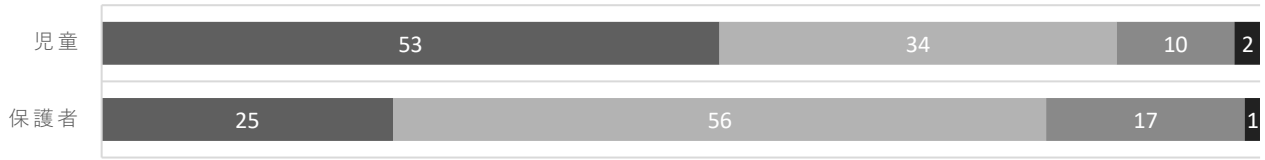
■A ■B ■C ■D

自分から進んで学習に向かうことができた

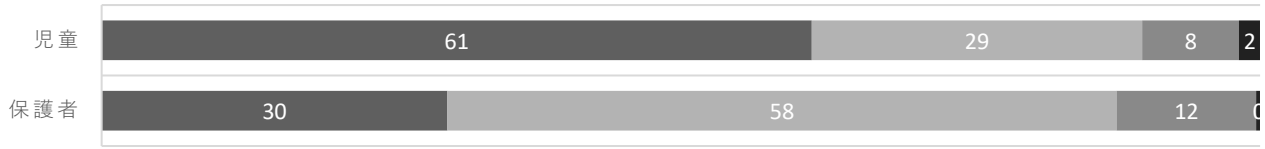
Ａよく当てはまる　Ｂやや当てはまる　Ｃあまり当てはまらない　Ｄ当てはまらない



自分の考えや思いをいろいろな形で表現することができた

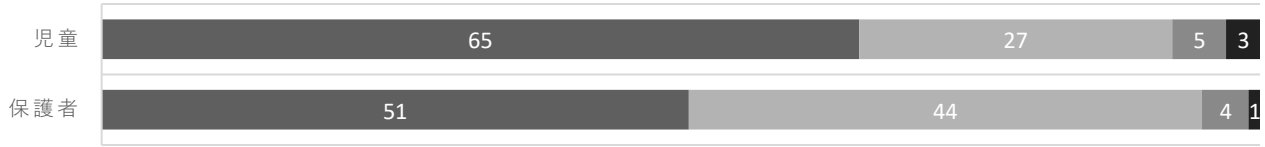


礼儀正しく挨拶することができた

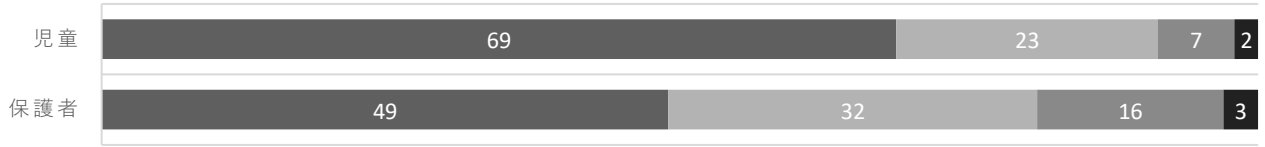


友達や他の人を思いやり，協力して行動できた

自他の健康や生命を大切にすることができた

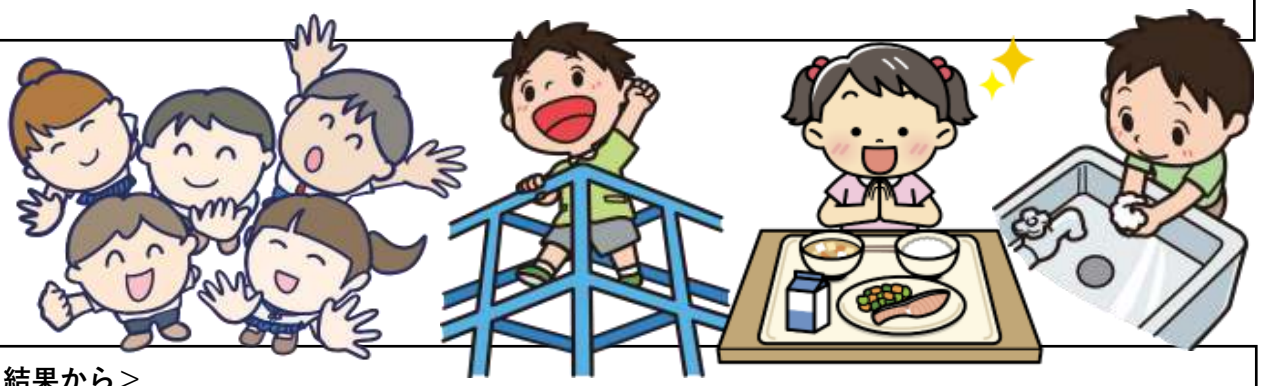


進んで運動することができた



＜保護者アンケート　主な意見＞※紙面の都合で，多かった意見のみを紹介します。

・運動会をさらに充実させてほしい。土日開催も検討してほしい。（１５）
・地域や他の学校，他学年との交流などを積極的にしてほしい。（１０）
・思いやりの心や感謝，規範意識，他者を思う心を育てていってほしい。（８）
・いじめ・人を傷つけることは許されないということを伝え続けてほしい。（７）
・放課後学習に再び取り組んでほしい。（７）
・校外学習や体験学習をもっと取り入れてほしい。（６）
・メディアリテラシーに関わる教育をしてほしい（４）
・言葉遣いをよくするように指導をしてほしい。（３）
・自然と触れ合う機会を増やしてほしい。（３）
・体力を付ける活動をもっと取り入れてほしい。（３）
・みんなで力を合わせてやり遂げる経験を増やしてほしい。（３）
・性に関する教育を行ってほしい。（３）
・友達と関わって学ぶ時間（互いの意見をよく聞くなど）を充実してほしい。（３）
・子どもの人間関係づくりについてもっと学んでほしい。（３）
・これからも頑張ってください，ありがとうなどの励ましのお言葉（２１）



＜結果から＞

・児童が自主的に学習する態度が着実に身に付いてきています。一方で，保護者のＣ・Ｄ評価も約２割あります。昨年度から実施している「参考になる家庭学習の取組の掲示」を継続し，通信で取り上げるなどしていきます。

・礼儀，特に挨拶は昨年より改善傾向が見られますが十分とは言えません。これまでのコロナ禍での対応から変化が見られることもあるので，この機会に児童の頑張りを認めながら，継続して全校で取り組んでいきます。

・基本的に児童の評価結果が高く出がちですが，「自他の健康や生命を大切にすることができた」の項目は数値が似ています。健康や生命を大切にしていくことは，思いやりをもって生きることにつながります。肯定的評価１００％を目指して，継続して指導していきます。

・コロナ禍でも工夫しながら体力向上をしてきたことが一定程度評価されたと考えます。一方で，保護者のＣ・Ｄ評価が約２割あることから，運動の日常化に課題があることがうかがえます。学校での体力づくりや体育学習の取組を紹介したり，家庭でできる体力向上の取組などを周知したりしていきます。

・記述欄からは，コロナが５類感染症に位置付けられたことに伴い，行事や活動を活発にしてほしいという要望が見られるので検討していきます。ただ，機械的に「コロナ前」に戻すのではなく，限られた時間で何をするのかについて，一つ一つ考えながら進めていきます。